



Izu Peninsula Geopark News Letter

伊豆半島ジオパークの世界再認定審査に向けた 現地調査が行われました



下田市白浜にてジオパークガイドの説明を受ける調査員



清水町柿田川公園にてジオパークガイドの説明を受ける調査員

ユネスコによる伊豆半島ジオパークの2度目の世界再認定現地調査が7月5日～7月9日の日程で行われました。調査員は中国ジオパークネットワーク関係者の男性（60代）とインドネシア世界ジオパーク関係者の女性（30代）で、7月5日に伊豆半島入りし、7月9日には講評・意見交換と記者会見を行い、離日しました。2名の調査員は、ジオリアの他、11カ所のジオサイトやビジターセンター等を視察しました。今回の現地調査では、前回の世界再認定で示された5項目の指摘事項への対応に注目して調査が行われました。また、前回の再認定後に始まった新たなジオパーク活動の主な成果を強調することもポイントとなりました。調査員は会見の中で今回の調査に関して「(指摘事項への対応は)非常に良くできていた。その他にも前回審査以降に達成できたことが多く見られた」とコメントしたほか、「すべてのジオパークに必ず改善の余地がある。伊豆半島ジオパークにもより良くなるように見解や提言を出していく」と話しました。審査の結果については、9月初旬に開かれるカウンスル（協議会）を経て9月中にユネスコから公表される予定です。

現地調査を 終えて

事務局職員より

最初は遥か遠く仰ぎ見て憧れるだけの場所が、がむしゃらに駆けずり回り漸く辿り着ける場所になり、そして今は静かに歩いて辿り着く場所になりつつあります。世界の称号が皆様の隣の当たり前の日常となるよう、一同これからも弛まず尽力してゆきます。(辻)

今回は準備もしっかりでき、当日もほぼ問題なく対応でき、調査員の感触も概ね良かったと思います。(石田)

ジオパークに関わっていると「ジオパークは人である」という言葉をよく耳にします。ジオパークの主役は貴重な地質や美しい景観ではなく、そこで活動する人々なんだという意図が込められているかと思っています。今回の現地調査はそのことを改めて認識する機会になりました。(遠藤)

ジオパークというものに怒涛の勢いで追いついたつもりでしたが、調査員との意見交換の中で、継続して重点的に取り組んでいくこと、進化させていくことの軸が自分の中で明確になったように思います。地域に働きかける活動をしていきたいです。(佐々木)

研究員を中心に市町や関係者の皆さまとともにしっかりと準備を進め、当日を迎えることが出来ました。どのように良い地域の未来を作っていけるかということを中心に考え続けるジオパーク活動で、外部からの視点でもたらされるアドバイスは大きなヒントになります。9月の報告が楽しみです。(塚本)

準備から当日まで、皆さんを追いかけるのに必死な状態でしたが、暑さによる体調不良等の大きなトラブルもなく無事に終えることができて安心しています。(古谷)

まずは、今年度最大の事業が無事に終わり一安心というところです。今後は、今ある事業を確実に遂行しつつ、どんな指摘事項が来ても対応できるような準備をしていきたいです。(松田)

Vol.6
2025 4-7



Revalidation

こんなジオパークに
したい！

4月から就任しました！
ジオパーク推進部長
辻 修次



昔、あるバンドのメンバーがこんな話をしていました。「我々はウニだった。尖った棘のような個性があったが力はなく、棘に守られた体は小さく弱々しかった。やがて音楽的な力がついた。だが大きく育った体に棘が埋もれ、当たり障りのない音になった。だから、また棘を生やしたい。丸く大きく、しかも鋭い棘のあるウニになる。」二度の再認定を経て、伊豆半島ジオパークは成長しました。しかし、ユネスコに忠実な優等生になり、創設時の個性を見失いがちかもしれません。私たちも再び棘を生やそうと思います。初めてジオパークを目指した頃の記憶を呼び覚まし、この地に深く根を張り、しっかりしたアイデンティティのあるジオパークを目指します。



現地調査最終日、ジオリアにて調査員のお二人（前列中央）と記念撮影

KITTE丸の内にて「伊豆の歴史と三嶋大社」展を開催

4月19日から5月6日までKITTE丸の内（東京都千代田区）にて、三嶋大社が主催するイベント展示「伊豆の歴史と三嶋大社」を共催しました。伊豆半島では三嶋大社を中心に自然信仰が根付き、大地の変動が信仰や美しい景観を育んできました。展示では伊豆の自然や文化を貴重な資料や映像等で紹介し、旬の観光情報とあわせて首都圏の方々にPRしました。展示期間中には展示に携わった専門家によるトークショーや巫女装束着体験、武家茶道流派によるお茶の降る舞いや、ゆるキャラとの記念撮影などたくさんのイベントがおこなわれ、会場を盛り上げました。



伊豆の国市からは「てつざえもん」もかけつけました



三嶋信仰を巡り、國學院大學の深澤教授と対談する遠藤研究員

ジオぱく 伊豆半島の磯の生き物を観察

静岡ガスグループと連携し、定期的に行っている食と学びのイベントシリーズ。以前好評を得た「磯のお花見」を、5月24日（土）に「初夏」バージョンで復刻開催しました。参加者は4組13名。ダイバーでもあるジオパークガイドから、伊豆半島の海岸の特徴とそれを好む生き物のことについて教わりました。網とカゴを持って磯へ降りた子どもたちは何かを見つけるたびに「先生ーっ！」「これは何？」「どんな生きもの？」と質問攻め。伊豆半島の磯の生き物と実際に触れあいました。お昼ご飯には、静岡ガスエネリアショールーム柿田川のレシピによる、伊豆の海の食材をたっぷり使ったおにぎりとお味噌汁を楽しみました。



安全な西浦の磯場で海の生き物を観察しました

ワークショップブースでイベント参加

5月31日（土）伊豆の国市神島で開催されたろっぼう祭に出展しました。建設や土木関係の企業や地元のお店などでにぎわうイベントで、子どもや大人が楽しめる体験ブースも。主催の土屋建設の持つ採石場のひとつ白鳥山は、六方石（ろっぼうせき）とも呼ばれる柱状節理が見事な場所です。ジオパークのブースでは柱状節理のでき方を片栗粉で再現する体験を提供しました。

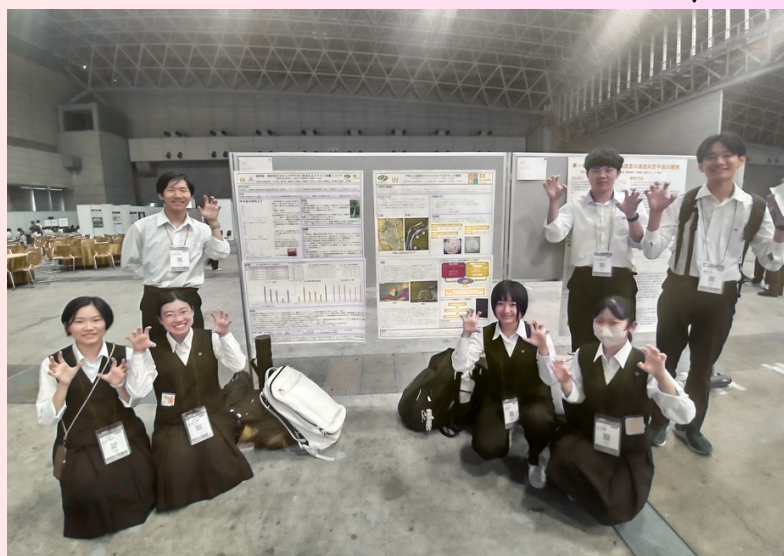
7月19日（土）には韭山反射炉ガイダンスセンターにて実施の**韭山反射炉の日**イベントに今年も出展しました。昨年に引き続き、ジオパークガイドが伊豆半島の砂当てクイズやツモルくん（堆積実験教材）で地層を作る体験、柱状節理のでき方を片栗粉で体験できるコーナーを設けました。県外から来場のお客様も多く、伊豆半島のビーチの砂当てクイズで盛り上がりしました。



韭山反射炉の日、伊豆半島の成り立ちを学ぶワークショップを行いました

JpGU2025にて 伊豆半島の高校生が受賞！

韭山高等学校と松崎高等学校の共同研究が、5月に幕張メッセで開催された日本地球惑星科学連合2025年大会（JpGU2025）の高校生ポスターセッションにおいて、奨励賞を受賞しました。発表タイトルは、「西伊豆・南伊豆のオオシマザクラに含まれるクマリン含量について」。韭高と松高では、松崎町や南伊豆町で生産が盛んな桜葉漬けを対象に、原料のオオシマザクラの生育環境や製造工程と香り成分の関係について研究をおこないました。JpGUで韭高が受賞するのは2021年以来、4年ぶり4度目。松高は初めての受賞です。今年度も両校では下級生が研究を引き継いで、新たなテーマで研究を進めていきます。



Research

学術助成の採択テーマ発表

伊豆半島ジオパークでは、ジオパークの学術的な基盤となる研究の蓄積を目的に、伊豆半島のフィールドを対象とした人文、社会、自然科学の調査研究を行う研究者を対象に調査研究費の助成をしています。令和7年度は次の3件の研究が採択されました。

- ① 「伊豆半島固有の淡水性等脚類、イズコツブムシの進化的起源の解明」
国立遺伝学研究所 乾 直人
- ② 「分布北限域である内浦湾におけるエダミドリイシの絶滅リスクおよび保全策に対する分子生態学的な評価」
東京大学大学院農学生命科学研究科 森田 椋人
- ③ 「スズキダニザトウムシの系統地理：伊豆半島の地史と固有種持続の関係を解き明かす」
京都大学大学院理学研究科 森澤 里夏

採択された研究は、来年3月に予定されている研究発表会にて成果発表をする予定です。

ジオ学習出前授業



伊豆半島の成り立ちを座学で学ぶ



学んだ内容をフィールドで確認

4月から7月にかけて、小学校3校、中学校3校、高校1校にて理科や総合などそれぞれの学科・分野でジオ学習を行いました。ジオパークガイドとともに伊豆半島の成り立ちを実験等によって学び、学んだことをフィールドワークで実際に見て知識を深めました。



実験で学びを深める

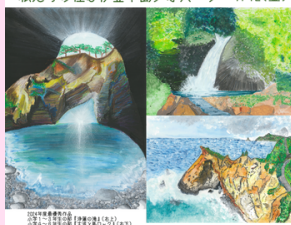
子ども絵画コンクール作品募集

今年も「私たちの住む伊豆半島ジオパーク」をテーマに、作品を募集しています。募集は9月12日（金）までです。集まった作品は、小学1～3年、4～6年、中学生の3部門に分けて10月に審査を行い、11月から入賞作品の展示を伊豆半島の各地で開催します。

伊豆半島ジオパーク
子ども絵画
コンクール

作
品
募
集

私たちの住む伊豆半島ジオパーク 9/12(金)



（主催）一般社団法人美しい伊豆創造センター
（協賛）伊豆半島ジオパーク推進委員会・伊豆新聞
（協賛）静岡県教育委員会・伊豆新聞本社・熱海新聞・伊豆日日新聞
（お問合せ）☎0558-72-0550
（応募先）伊豆半島ジオパーク推進委員会事務局
伊豆半島ジオパーク推進委員会事務局



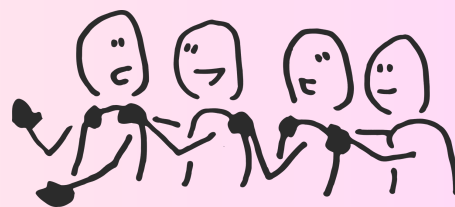
GGN生誕20周年コンテスト ～入賞者決定～

2024年は、世界ジオパークネットワーク（GGN:Global Geoparks Network）の生誕20周年の年でした。世界各地のジオパークを挙げて3つのコンテストが開催され、独特なオーラを放つ広報デザインながらも、数名の方たちが果敢にご応募くださいました。伊豆半島ジオパーク事務局内での厳正な審査の結果、写真コンテストの最優秀賞には鈴木正之さん、優秀賞にイッシーさん、土屋光示さん、エピソードコンテスト「石の物語」の最優秀賞には土屋光示さんが選出されました。鈴木さんの作品は、日本ジオパークネットワークによる日本代表にも選出され、現在世界選考の真っ只中です。入賞者の作品は伊豆半島ジオパークの公式ホームページの新着情報からご覧いただけます。



Networking

最優秀賞を受賞した
鈴木さんの作品
撮影場所：沼津市大瀬崎



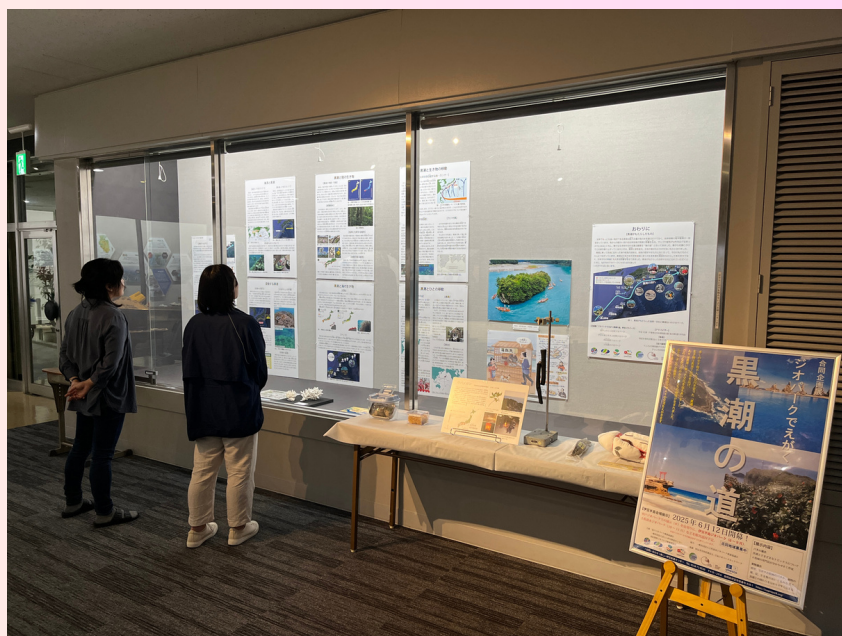
香港世界ジオパーク元事務局 局長来訪



研究員とジオパークガイドがジオリアをご案内しました

香港世界ジオパークの元事務局長、Yeung氏が4月25日に来訪しました。香港ジオパークの立ち上げに尽力し、退職した現在でも世界各地のジオパークを飛び回るなど、精力的に活動されている方です。伊豆半島ジオパークとの意見交換の場では、世界認定後のジオパークをどう継続的に盛り上げていくのか、また、世界各地のジオパークとネットワーク化していくことの意義をご教示いただきました。夕食会は、山下正行ジオパーク担当理事（伊豆の国市長）とYeung氏と古くから親交のあるジオパークガイドを交えて行われました。市民の意見を組み込むための体制づくり等、伊豆半島ジオパークの組織力が高く評価されました。

「ジオパークでえがく 黒潮の道」 展開催



展示の様子 触って確かめられる内容もあります

6月12日から9月16日まで伊豆半島ジオパークミュージアム・ジオリアにて、巡回展「ジオパークでえがく 黒潮の道」を開催しています。日本の太平洋沿岸を流れる黒潮は、植物やサンゴなど多くの生き物の生息地を広げ、人々の交流により沿岸地域に特有の歴史・文化を育みました。黒潮が生んだ鰹節などは、沿岸地域のみならず日本全体の食文化にきわめて大きな影響を与えてきました。巡回展は太平洋沿岸の4つのジオパーク（室戸、土佐清水、南紀熊野、伊豆半島）が共同で企画し、今年春の室戸会場を皮切りに、伊豆半島（夏）の後は、土佐清水（秋）、南紀熊野（冬）を巡る予定です。

ジオパーク委員会

6月20日、修善寺総合会館にて第1回ジオパーク委員会を開催しました。

令和6年度の事業実施報告、令和7年度事業計画及び予算、7月に実施するユネスコ世界ジオパーク現地調査についての報告と新たにジオパークガイドに関するワーキンググループの設置を承認しました。次回第2回ジオパーク委員会は11月20日を予定しており、合わせて地質物品販売に関する講演会を開催します。

ワーキンググループ

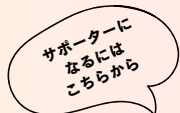
伊豆半島ジオパークでは、次期基本計画2026～2030の策定にあたり、地域の方の声を取り入れるため、「保全」、「教育」、「持続可能な地域づくり」の3つの分野でワーキンググループ（以下、WG）を立ち上げ、老若男女問わず様々な方に参加いただいています。WGはすでに第2回会議まで終了しており、次期基本計画の原案作成に向け協議を進めています。作成した原案は、今後のジオパーク委員会や（一社）美しい伊豆創造センターの理事会で諮って次期基本計画に反映されていきます。



伊豆半島ジオパークの公式HPとジオパークサポーターについて

伊豆半島ジオパークの公式ホームページが新しくなりました。トップページにカレンダーが表示され、事務局だけでなくジオパークガイドやビジターセンターが提供するイベント情報なども見られるようになりました。自動翻訳機能が搭載されたことで、最新の情報も遅滞なく英語で読むことが出来ます。

ホームページではジオパークサポーターも募集しています。2025年4月より、サポーター加入は無料になりました。ジオパークサポーターになると、メールマガジンにてイベントのお知らせなどが届きます。現在約370名の方がサポーターとして登録されています。



伊豆半島GP公式HP



ジオリアHP



ジオパークサポーター

ジオリア GEORIA かき氷販売



今年もジオリアではかき氷の販売を行っています。ジオサイトをイメージした5つの味と練乳のトッピングを提供しています。

ジオポロシャツ販売

ネイビー、ブラック、ホワイト、ジャパンプールのポロシャツをジオリアにて販売中です。税込み2,600円で、今年の新色はジャパンプールです。

ジオ検定

今年もジオ検定3級の季節がやってきました。全国の皆さんから、受付開始前から待ちきれない声をいただき、開始してから早速多くの挑戦をいただいています。受検は8月末まで。たくさんの挑戦お待ちしております！



ジオ検定

